

# 押

オウ  
おす・おさえる

8画  
一 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌  
お 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌

**なりたち** 外を包み覆う意味の甲とオ(てへん)との会意形声字。手で包み覆うようにして「おさえる」ことを表した字。印判を押す時そのようにするので「印判を押す」こと。転じて、広く「押す」意味。



**いみじゆく**  
▼押さえる。差し押さえる。押収：裁判所などが証拠物件などを差し押さえて取り上げることを。用例 凶器を押収する。  
押送：囚人や刑事被告人などを護送すること。  
▼押す。印などを押す。押印：印を押すこと。用例 書類に押印する。  
花押：古文書などで、右筆(昔身分の高い人)につかえ、記録を受け持った人が代書した文書の最後に本人が書く署名。書き判。

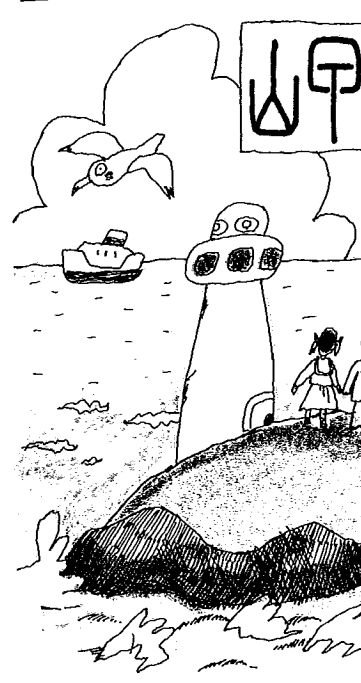
▼韻を踏む。押韻：詩で、一定の場所に同じ韻の文字を使うこと。韻を踏むこと。  
**よみかた** 押し入れ・押し売り・押し出し・押し葉・押し問答・差し押さえ

# 岬

みさき

8画  
一 山 山 山 山 山 山 山 山  
山 山 山 山 山 山 山 山

**なりたち** 外を包む意味の甲と山との会意形声字。山と山とに包まれた「山あい」を表した字。「峽」と同じ意味の字。「はさま」。わが国では「海に包まれた山」の意味に用いる。「みさき」。



**いみじゆく**  
▼みさき。海または湖に突き出た陸地の先端。突き出た「先」という意味の言葉。用例 岬の灯台。

# 稲

トウ  
いね・いな

14画  
一 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾  
禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾

**なりたち** 旧字体は稻。稲の形をかたどった禾(のぎへん)と、臼(ち)から取り出す意味を表した臼との会意形声字。白でつき、臼から取り出す穀物の「稲」を表した字。「稲田・稲葉」等の熟語のときは「いな」と読む。



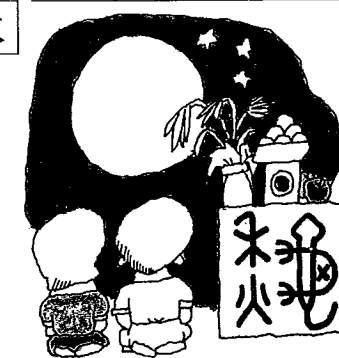
**いみじゆく**  
▼稲。稲穂：稲の穂。稲の先の実がついている部分。  
稲作：①稲を育てること。例 稲作農家 ②稲の作柄。稲の出来具合。  
水稲：水田で作る稲。陸稲に對していう。  
陸稲：畑に作る稲。おかぼ。晩稲：普通の品種より遅くできる稲。おくて。  
**よみかた** 稲妻・稲田・稲刈り

# 秋

シユウ  
あき

9画  
一 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾  
禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾 禾

**なりたち** 古い字は鞠。稲の形をかたどった禾(のぎへん)と龜(か)と、火(ひ)との会意字。稲の収穫できる、また、カメの捕獲できる季節を表した字。「あき」。後に省略され「秋」または「穠」という字になった。



**いみじゆく**  
▼秋。初秋：秋の初め。中秋：秋の中ごろ。晩秋：秋の終わりがら。立秋：暦の上で秋になったとされる日。二十四気の一つ。八月八日ごろ。  
秋色：秋らしい景色や感じ。秋霜：①秋の霜。②刑罰などが厳しいことの形容。例 秋霜烈日 ③白髪形容。秋思：秋の感傷的な物思い。▼年月。春秋：①春と秋。②一年。年月。用例 春秋に富む青年。月。用例 春秋に富む青年。(若く、先が長い意味。)  
一日千秋：一日が千年に思われる程長いことの形容。  
用例 一日千秋の思いで待つ。▼時。大切な時期。秋分・秋冷

**よみかた** 秋草・秋季・秋期

# 稲秋

# 押岬